

麻 蔵



第48号 2019.6.27

神奈川県立秦野高等学校同窓会会報

《思い出のシリーズ》 “平成最後の校歌祭”



平成最後の校歌祭です。

校歌祭も13回目となりましたが、第1回からの連続出場校の1校として参加しています。同窓生と現役の秦高生が関わる数少ない機会ですが例年、多くの方に参加いただいています。秦高を卒業し、なかなか旧友に会えない方もいるかもしれません。今年度も多くの秦高生と一緒に声を響かせます。皆さんもかつての仲間と再会することで青春時代を思い出してみませんか。(6ページに続く)

同窓会会報第48号目次

表紙 題字 宮本 信義(中5回)

スケッチ

岡村 泰成(高6回)

会長ご挨拶……………	1
学校長ご挨拶……………	2
総会案内、本部役員名簿……………	3
平成30年度総会報告・事業報告……………	4
令和元年度事業計画案……………	5
平成30年度決算報告・令和元年度予算案……………	6
表紙スケッチ……………	7
青春かながわ校歌祭について……………	8
シリーズ 杉山長風先生の記念講演……………	9
支部だより……………	10
在職中の思い出……………	11
同期会だより……………	12
広畑が丘空はれて……………	13
部活訪問……………	14
部活動の活動状況報告……………	15
母校2018年度進路状況……………	16
大学短大等合格者延べ数・お知らせ……………	17
春の異動・物故者など……………	18

就任1周年を省みて



同窓会会長

桐山 昌幸

(高15回)

平成30年度同窓会総会におきましてご承認を頂き、歴史の重みを受け継がれている第15代会長に就任させて頂きました。畑野前会長には2期6年の永きにわたりご貢献を頂き深甚なる感謝を申し上げます。

新役員体制が発足し、この一年を省みますと、事業活動の一環である同窓会生と在校生が一緒に参加できる唯一の事業である第13回「青春かながわ校歌祭」は昨年10月、県立青少年センターで開催され総勢90名が大舞台上で校歌、応援歌を誇りをもつて高らかに歌いあげました。

学校行事につきましては、国際交流の一環として姉妹校提携を結んでいるCSC(オーストラリア)と相互

信頼の基、相互交流を重ね、その輪は確実に広がっております。また、昭和22年以来跡切れることなく継続され同窓会生の誰もが経験した校内マラソン大会は73回を重ね、2月に秦野カルチャーパークで開催されました。

3月1日に第71回卒業式が挙行され354名の卒業生が巣立ち、同窓会の入会に賛同いただき、また、第73回入学式では櫻花並る中、校門を潜り354名の秦高生が誕生いたしました。

遠くに富士山を、近くに丹沢の山並みを、真近に弘法山と恵まれた広畑が丘の自然環境の中で、「文武両道」「質実剛健」の建学精神のもと愚直に勉強に部活動に励み、打ち込む在校生への部活動助成、全国大会等への出場支援は鋭意寄与してまいります。今後の同窓会「広陵会」のあるべき姿を思うにつけ、先輩諸氏の礎を継承しつつ、嘗ての男子校から共学校へ、学区は改正を重ね撤廃へと、時

代の変遷に合わせて更なる隆盛と進化を図るために現況の支部組織のあり方を検証し、特に若い会員の方や女性会員の方のより参画し易い支部組織の構築は、直面する大きな課題との思いを致しております。7年後の「100周年記念事業」を目指して学校、PTA、同窓会が一体となり準備委員会は既に発足いたしておりますが皆様方志士、ご支援ご協力の程宜しくお願いいたします。この先、同窓会諸氏の付託に応えられる同窓会「広陵会」であるために役員一同、脇を引き締め一丸となって整然、かつ円滑な組織運営に努めてまいります。最後になりましたが、令和元年度総会是小田原支部の協力により、6月27日に開催いたしますので、同窓会諸氏の挙つてのご参加をお待ち申し上げますと共に、ご健康とご多幸をご祈念申し上げて、報告とご挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願いいたします



校長
今田 浩二

同窓会の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に絶大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

特に姉妹校交流であるオーストラリアのカジヨリーナ高校との交流は本校生徒のカジヨリーナ高校への訪問交流や、逆にカジヨリーナ高校からの本校への訪問に際しまして同窓会より多大なご支援をいただき、お陰様にて大いに成果のあがる国際交流を行うことができました。

紙面をお借りして、あらためてお礼申し上げます次第であります。

外国の人たちとの交流は、国際的

な幅の広い視野を獲得することを目指すとし、なおかつ外国語学習への強い動機付けともあわせ、秦高生には今後ますます進んでいくであろうグローバル社会を力強く生きていってほしいと考えています。

そのために必要となる資質・能力を高校時代にしっかり身に付け、世に巣立っていったほしいと思います。その意味で、3年前から始めてきているカジヨリーナ高校との交流は大きな意義をもっていると考えている次第です。

さて、この3月1日、第71回卒業式を挙行し、354名の卒業生が巣立っていきました。卒業生台帳で確認したところ、今回の卒業生を含めまして、本校の卒業者は25,048名にのぼることがわかり、あらためて、秦野高校の歴史と伝統を感じている次第です。

更に4月6日、第74回入学式を挙

行しました。今年は363名の新入生を迎え夢と希望を胸に入学してきた生徒達に、しっかり応えられるようカリキュラムマネジメントに取り組み秦野高校の教育活動のますますの充実を図ってまいりますので、地域同窓会の皆様、今後ともご支援のほどお願い申し上げます。



総会へのお誘い

同窓会長 桐山昌幸

令和元年度総会は、右記のホテルで、小田原・南足柄支部の皆様にご設営していただきました。会員各位のご参加をお願いします。初夏の箱根を満喫して下さい。

令和元年度 秦野高等学校同窓会

～総会のご案内～

日時 6月27日(木) 11時～

場所 湯本富士屋ホテル

箱根町湯本256-1

TEL (0460) 85-6111

総会日程

A.M.10:20 受付(総会前に写真撮影)

11:00 総会

■平成30年度事業報告及び決算報告

■令和元年度事業計画及び予算審議

■その他

0:30 懇親会(アトラクション)

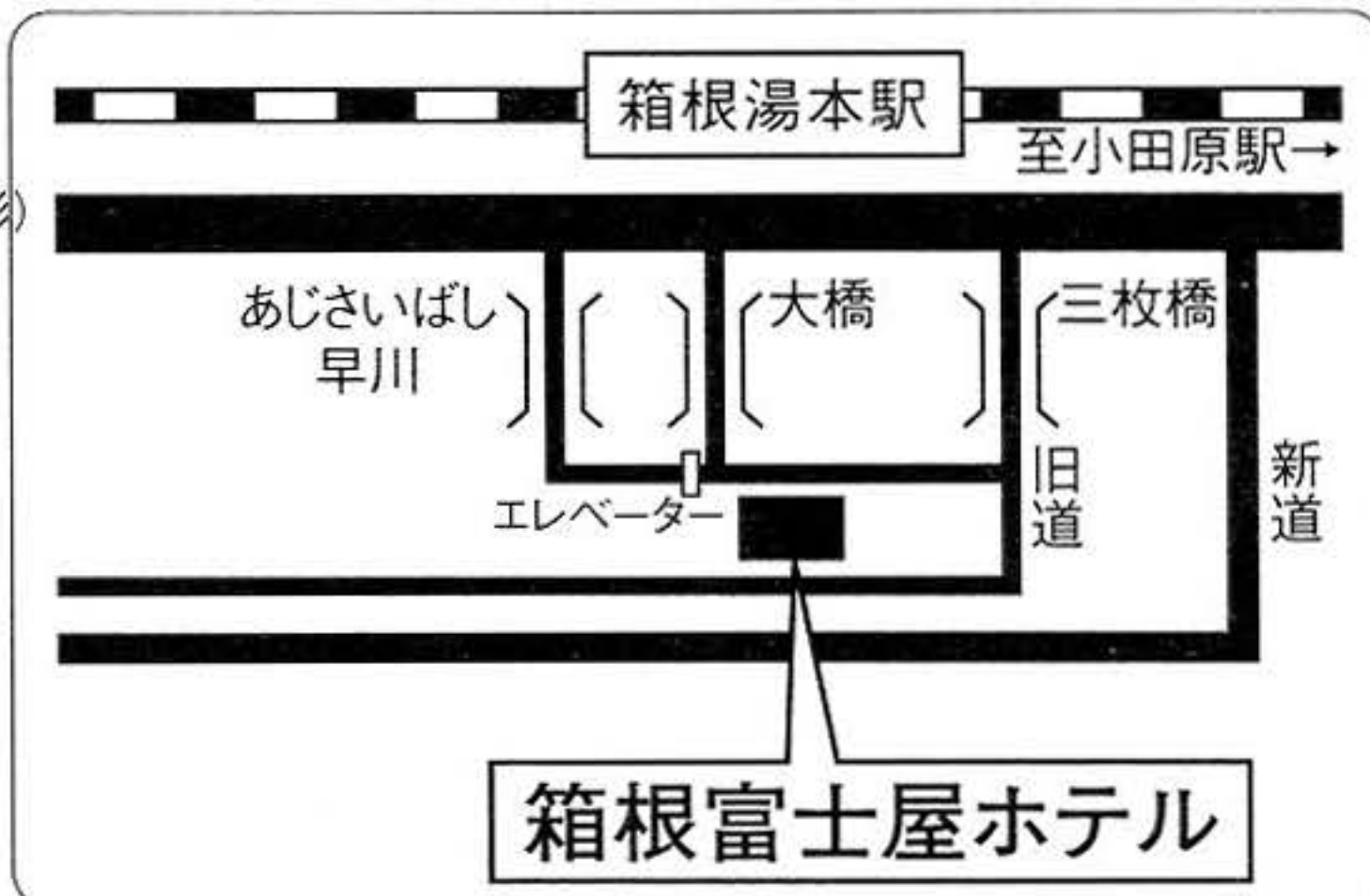
* 総会終了後 懇親会

・会費5,000円(当日納入)

・着席ビュッフェ方式で自由席です。

・申込 準備の都合上、出席者は「卒業期」と「氏名」を小田原支部 中津川まで FAX0465-34-8904

・締切 6月10日 支部長は把握可能な範囲でまとめてFAXをお願いします。



会場へのご案内

◆箱根湯本駅より3分、大橋を渡って右側にエレベーターがあります。

県立秦野高等学校同窓会本部役員名簿

【顧問】 畑野 公保 (高7) 伊勢原

【会長】 桐山 昌幸 (高15) 秦 野

【副会長】 久保寺忠夫 (高28) 秦 野 田中 信一 (高18) 伊勢原

杉山 鎮夫 (高12) 平 塚 中津川福蔵 (高13) 小田原

長沢 孝治 (高13) 東 京

【支部長】 高橋 昇三 (高13) 秦 野 吉野 富夫 (高27) 伊勢原

小川喜久雄 (高28) 平 塚 安藤 誠二 (高14) 小田原

重田 武男 (高15) 南足柄 長沢 孝治 (高13) 東 京

【会計】 谷 富雄 (高20) 秦 野 平田 真一 (高28) 伊勢原

【会計監査】 今井 勝重 (高29) 伊勢原 小島 俊英 (高27) 平 塚

【校内幹事】 相原 芳夫 (高23) 河野 治行 (高29) 今井 公彦 (高29)

【事務局】 〈局長〉飯田 保 (高20) 秦 野

〈次長〉山口 幸治 (高19) 秦 野

平成30年度 総会報告

平塚支部 小川喜久雄(高28回)

平成30年度秦野高校同窓会総会が、6月24日11時から、ホテルサンライフガーデンで開催されました。

畑野会長、来賓の今田校長の挨拶の後、議長を選出し議事に入りました。初めに平成29年度の事業報告、決算報告が行われ承認されました。

次に役員の改選では会長・会計監査の承認、副会長、会計等の選任の報告がされました。そして桐山新会長が挨拶した後、平成30年度の事業計画・予算案の提案があり可決され、その他で「校舎耐震化工事」などの報告があり、総会は閉会しました。

続いて写真撮影を行った後、会場を移動し懇親会に入りました。懇親会は平塚支部伝統の抽選会で盛り上がりしました。最後に参加者で校歌を斉唱して総会・懇親会を終えました。

令和元年度事業計画(案)

- 1 総会・幹事会・役員会・各委員会の開催
- 2 会報「広陵」第48号の発行・配布、ホームページの管理・運営
- 3 第14回 青春かながわ校歌祭への参加
令和元年10月12日(土)
神奈川県立青少年センター
〈練習日時〉8月24日(土)10時～12時
9月14日(土)10時～12時
9月28日(土)10時～12時
〈練習場所〉秦野高等学校視聴覚室
- 4 支部育成と同期会支援
- 5 在校生への活動支援
部活動助成、全国大会等への出場支援
- 6 秦野・伊勢原地区同窓会連絡協議会への参加

平成30年度事業報告

- 1 総会
●6月24日(日)
ホテルサンライフガーデン
- 2 役員会
●4月2日(月) 会計監査
●4月14日(土) 本部役員会
●7月21日(土) 本部役員会
●10月30日(火) 本部役員会
●3月16日(土) 本部役員会
- 3 常任幹事会
●4月14日(土) 常任幹事会
- 4 会報「広陵」47号発行・配布
- 5 支部育成 6支部に育成助成
- 6 同期会支援 5同期会に祝金贈呈
- 7 第13回青春かながわ校歌祭に参加
期 日 10月21日(日)
会 場 県立青少年センター
参加者 同窓会員・生徒・教師
合唱曲目 校歌・応援歌
- 8 第33回秦野伊勢原地区同窓会連絡協議会に参加
期 日 7月28日(土)
参加校 秦野曾屋・秦野・秦野総合・伊勢原・伊志田
・各校同窓会の現状報告及び情報交換
- 9 学校創立100周年記念事業
- 10 在校生活動支援
- 11 学校行事

平成30年度決算・令和元年度予算(案)

◎収入の部

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

単位 円

項 目	平成30年予算	決 算 額	予 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	4,484,845	4,484,845	4,208,273	
終 身 会 費	3,700,000	3,598,806	3,600,000	新会員 既存会員
預 金 利 息	1,750	1,841	1,800	預金利息
雑 収 入	80,000	80,000	80,000	広陵広告協力金
合 計	8,266,595	8,165,492	7,890,073	

◎支出の部

項 目	平成30年予算	決 算 額	予 算 額	摘 要
会議費	300,000	266,280	275,000	
総会費	225,000	225,000	225,000	総会開催諸費用 役員会,常任委員会
役員会議費	75,000	41,280	50,000	
事業費	3,420,000	3,569,679	3,490,000	
支部育成費	240,000	240,000	240,000	6支部 同期会助成 部活動教育活動助成 編集費印刷発行費送料 参加費,バス代,会議費 ホームページ運営費
同期会育成費	60,000	50,000	60,000	
在校生活動振興費	700,000	832,006	700,000	
会報発行費	2,130,000	2,165,163	2,200,000	
校歌祭参加費	210,000	217,692	220,000	
ホームページ運営費	80,000	64,818	70,000	
慶弔費	40,000	10,000	30,000	
事務費	115,000	111,260	115,000	
事務局費	85,000	85,000	85,000	事務消耗品代 郵送費 会議資料費コピー代
通信費	20,000	23,930	20,000	
印刷費	10,000	2,330	10,000	
予備費	4,391,595	4,208,273	3,980,073	
合 計	8,266,595	8,165,492	7,890,073	

(決算予備費は次年度繰越金になります)

同窓会積立金残高

31,500,000

表紙スケッチ

写真部

岡村泰成 (高6回)

在学当時、写真部を開部。

当然暗室もなかったので裏庭に1坪ほどの小屋の使用許可を取り、暗室に改造。ところが杉板壁で節穴だらけ。印画紙の黒い袋で目張り。一眼レフ全盛の時代、リコーフレックスを使いあちこちで撮影し、ブローニーフィルムモノクロD76の皿現像を行いプリンターは手作り、なんとか作業できるところまでこぎつける。当時大秦野駅から水無川の橋を渡り、坂を登る途中、右手のミヤマ写真店2階で、写真講座の集まりに参加したことを思い出す。

*

昭和29年卒業、東京藝術大学工芸科卒、日本美術家連盟会員、MossSpirits代表

「青春かながわ校歌祭」老若男女が一つに

校歌祭実行委員長 北村紀男（高11回）

第13回青春かながわ校歌祭は、横浜市西区紅葉坂にある県立青少年センターに県下26校の高校の在校生・卒業生が集い開催されました。全員合唱の「箱根八里」から始まり26校が、7分間と短い持ち時間の中で校歌や応援歌等を披露されますが、各校の校風や伝統が発揮され大変楽しい催しであります。



さて、秦高は、第1回からの連続出場校15校中の1校であります。歌は吹奏楽部の演奏に合わせて校歌・第一応援歌・第二応援歌の三曲を質実剛健に歌い上げております。一昨年から校歌等を一緒に歌って下さるようになりましたチアリーディング部の生徒の皆さんは、昨年からは歌と踊りの両方を披露して下さるようになりましたので、卒業生の私達も大変若い気分になって参加することが出来るようになりました。少し前までは蜜カラを謳い文句にしていた秦高も県央の厚木2校等と肩を並べられるようになりました。

ここまで来られましたのも、校長先生はじめ先生方のご指導・ご協力の賜物と感謝しています。

今年も次の日程で開催されます。更に多くの皆様のご参加をお待ちしております。また、自由に見学できますので、お誘い合わせの上、紅葉坂までお出掛けください。

●開催日・会場

10月12日(土)

県立青少年センター 横浜市西区紅葉坂

●練習日

8月24日・9月14日、28日

いずれも土曜日午前10時から正午

●場所 秦野高校視聴覚室（予定）

●送迎バス 校歌祭当日は渋沢駅・秦野駅から出演者用バスを用意しますので、ご利用ください。



各種宴会・商談にご利用ください。



割烹 やなぎ家

秦野市寿町1-26

☎(0463) 81-2288

ホームページ <http://www.yanagiya-hadano.com>

シリーズ

杉山長風(茂夫)先生の記念講演⑤

～同窓会資料室から～

弘法山上の歌碑の建設の経緯を前回までのべました。

生くることかなしとおもふ山峡は

はだら雪ふり月照りにけり

先生がえらばれたこの歌については、昭和20年4月頃、戦争が激しくなつて東京空襲が相次いだ。そこで、その11月頃かと思うが、空襲から避けるため秩父の山に籠って開墾しながら歌をつくっておられた。

そのとき、こうして何時まで生きていられるのか、と思いながらおのが命をいとしみながら、秩父の山でのわびしい生活や老いの身の行く末などを考えていたり、故郷を思ったことは確かであつた。と同時に子と思う母と、父のことも。

夕暮の父は県会議員で政治の大立て者であり、非常に頑固で強かった。何時も夕暮を叱っています。それは、自然と共に生きてゆこう。自然の深さを探ろうとする芽ば

えが家をあけて、あちこち放浪したり家出したりしたことに対してであり、その果てに夕暮は勘当の憂き目を蒙ったことさえあつたのです。このことから16、7歳の少年の頃に文学に志していたことは驚きであります。

秩父での生活の中で夕暮先生は、やはり故郷は忘れられない。その故郷における母親の愛情はです。父が頑固で、怒り、叱つた時には、いつも母は身の大きい父の後ろにかくれながら、「お前は長男だから、いい子だから」そうかすかに呟く。そのことは夕暮先生の耳に亡くなるまで残っていたようです。このような背景の中で詠まれたものであります。

夕暮先生が亡くなった時の枕元の、遺歌集の中にもある通り「お前はいい子だから」何と深い深い内容のある言葉でしょう。短いけれど、お前はいい子だからと、これは

どうしても忘れられなかったのです。

私は弘法山上に歌碑ができますと、たまに報告がてら川田順さんの家に行きまして「いい事を秦野高校はしたもんだね。夕暮という人は本当に穏やかな人である。それは秦野という土地柄か。」そう言われた。川田さんの話によれば、斉藤茂吉、北原白秋という一流歌人等が酒を飲んで酔うと、景気がよくなると争いになるそうです。言い争い。それは一流歌人どうしの君子の言い争い。取り巻く歌人の人々はおろおろしてしまふ。その時に、誰ということなく、「夕暮さん、行ってなだめてやってくれ。他の人が言うど火に油を注ぐような争いになるから。」そこで夕暮さんがまあまあと言うと穏やかに収まってしまふ。あの人の人柄だろう。とにかく私の方が年は上だけでも、尊敬している友達だと言われましたね。ここにいる生徒の皆さんがそこまでゆくのはなかなか難しいけれども、これも先達の先人の人柄を越えて行こうという努力を惜しまず過ごしてもらいたいと思うのです。

地域の健康を願って SINCE1905



佐野十全堂薬局

〒257-0035 神奈川県秦野市本町2-5-6

代表電話 (0463)81-0031

支部だより

秦野支部

新体制気持ち新たに支部活動

秦野支部は「会員相互の融和団結や親睦並びに情報の交換と研鑽」を図ることを目指して活動しています。30年度の視察研修会では、山梨リニア実験線で超高速にも拘らず、低騒音・低振動で走行する新型リニア車両の走行実験を目の当たりに見ることができました。趣味のゴルフを活かして、親睦の輪を広げるために発足したゴルフ同好会は発足以来、年2回開催し、会員も増えています。このような地道な活動の成果が、支部に徐々にではありますが、新しい風を吹き込んでくれたようです。昨年の支部役員改選では女性会員が会計を引き受けてくれました。

本年は平成最後の年であり、新元号誕生の年でもあります。「何か期待の持てる新たな時代が来るのではないか」と期待してお

ります。支部としても新たな気持ちで支部長以下、会員相互の絆を大切にして、活力ある支部活動を推進していきたいと思っています。

高橋昇三（高13回）

伊勢原支部

新しい仲間と目指す活性化

伊勢原支部は平成30年5月20日に年度総会を開催しました。当日は支部役員の改選をはじめ、例年どおり活動報告、活動計画と共に決算・予算を審議し、全員の賛成をもって承認されました。

30年度事業では、会員研修として10月20日に江戸東京博物館・柴又帝釈天等の見学、参詣を好天に恵まれたなか実施しました。また青春かながわ校歌祭へも参加し、他支部の仲間と共に威風堂々と校歌・応援歌を披露しました。

伊勢原支部も本部・他支部と同様に、組織の運営に関して様々な課題を抱えています。当支部は伊勢原市の卒業生の皆様をはじめ、厚木市、座間市、大和市、海老名市、

綾瀬市、相模原市の卒業生も当支部の所属となりますので、積極的に参加いただけることを期待しています。

支部会員の皆様のご協力をお願いいたします。

今井勝重（高29回）

平塚支部

総会の成功祈った懇親会

平成30年6月3日に、平塚支部総会と懇親会を開催しました。

出縄支部長の開会挨拶の後、出席者から近況報告を兼ねた自己紹介が行われました。その後、議事に移り、平成29年度「事業経過報告」「収支決算報告」が報告されました。引き続き渡辺敏光監査から会計監査報告があり、満場一致で承認されました。

次に平成30年度「事業計画案」「収支予算案」が示され、これも満場一致で承認されました。その他、平成30年度の本部総会が平塚市で開催されるため、当日の役割分担などが検討されました。また「平塚支部地区役員名簿作成休止」や「平成30年度本部

土地活用のご相談は

SBS

株式会社 島 半

本社：神奈川県秦野市鈴張町5-30 ☎(0463)82-2211
東京支店：東京都港区南青山2-2-15-540 ☎(03)6447-1925

ホームページ <http://shimahan.co.jp/>

役員等の平塚支部からの推薦「第13回青春かながわ校歌祭」などの報告があり、議事の部を終了しました。

その後の懇親会は、お酒を囲み和やかな雰囲気の中で行われました。先輩方の懐かしい話に耳を傾け懇親を深め、6月に開催される総会の成功を祈り無事に終えました。

小川喜久雄（高28回）

小田原支部

無理せずにできることからまず一歩

当支部は他地区の皆さんの知恵と力も借りながら、通常年四回の総会並びに懇親会を開催しています。それでも年々参加される方が少なくなっていて、会そのものの活力に少々物足りなさを感じているところです。

今年度から組織がガラリと変わって、新人が増えました。先輩諸兄の指導を仰ぎながら、本部や他支部と連携していこうと思っています。

世の中の動きが大変スピード化され、合理的な生活が進行し、IT関連の発達に伴

い、私達の想像を絶する事案が多数発生しています。良いことばかりではありません。普通の良識では考えられないような、むごい事件が発生しているのも事実です。このような時こそ、皆さんで声をかけ合い、汗を流し、スムーズなコミュニケーションを図りながら、母校秦野高校の限りない発展を祈りながら、無理をせず、出来る所からやっていこうと思っています。

安藤誠二（高14回）

南足柄支部

会員増を目指して

平成30年度の南足柄支部総会は、5月26日に開催された。総会終了後には支部会員が講師になって講演会等を開催しているが、今回は支部会員の矢後明生氏が撮影したビデオ「箱根湯本と萬翠楼福住」を観賞した。美しい映像でとても満足した。新元号初の秦高同窓会総会は箱根湯本で開催される。総会参加者に箱根湯本を知ってもらうチャンスなので、このビデオの概要を紹介したい。箱根湯本温泉は歴史が大変古

く、奈良の大仏が建立された天平年間に遡る。重要文化財に指定されている旅館が「萬翠楼福住」である。徳川慶喜・西郷隆盛・木戸孝允・安藤広重・福沢諭吉などの著名人が宿泊している。これらの人は貴重な書画をたくさん残している。

南足柄支部は秦野高等学校同窓会総会が成功するように、小田原支部に協力している。支部総会のほかに数回の役員会や懇親会を行い、「広陵」は自宅に届けている。課題の支部会員増を目指して活動している。

重田武男（高15回）

東京支部

母校の想い出を東京で

東京近郊にお住まいのOBの皆様へ。東京支部会員は高齢化に伴い、活動が思うようにできていません。我と思う方は長沢までご連絡ください。

電話・FAX 03-3952-7784

長沢孝治（高13回）

湘南減災科学研究所

危機管理アドバイザー 出縄高昭（高19回）

（防災・防犯・危機管理対策を官公庁、会社、病院、学校、自治会等で講話）

事務所 〒254-0901 平塚市纏 340-3

電話 080-5175-4146

在職中の思い出

生徒として教師として

河野 治行(国語)

(平成26年～平成31年3月)

母校に戻って早5年。本当に楽しい日々を送らせていただきました。

平成27年に秦野高校が幹事校として行われた「第10回青春かながわ校歌祭」。その翌年に行われた「創立90周年(草創130年)記念式典」。その両方の大きな行事に参加できたことは、大いなる幸せでした。

日常の学校生活でも、重い荷物を運んでいると、さっと生徒が近づいてきて「持ちましょうか。」ほうきを持ちながら階段で当番を待っていると、通りかかった当番でない生徒が「僕たち終わりましたのでお手伝いします。」と。手前みそになるかもしれません。本当に誇れる生徒たちです。秦高の真の底力とは、「人間力」に尽きるのではないのでしょうか。先に述べた2つの大きな行事での、生徒と職員、PTA、同窓会の方々の結束力もそこから生まれて

いるのだと思われます。

私はここで定年という一つの区切りを迎えるわけですが、7年後には秦高も創立100周年という節目を迎えます。これまで歩んできた足跡を振り返り、良き伝統は継承しつつも、新しい時代にも対応できるよう、日々革新していったほしいと思います。

最後になりましたが、これまで私を支え、励ましていただいた職員、PTA、同窓会の皆様、生徒、卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。

秦高の更なる発展をお祈りいたします。

伝統に新たな一ページを

今井公彦(社会)

(平成27年～平成31年3月)

平成27年4月、卒業以来38年ぶりに母校の門をくぐりました。まるで時が止まったように在学当時と変わらず感じました。

気がつけば4年が過ぎました、無我夢中の4年間でしたが、充実した4年間でした。自分が生徒として過ごした3年間とはまた違った視点で秦高をみる事ができました。当時と大きく変わらぬこと、これまで気付

かなかった秦高の素晴らしさなど、感ずることは少なくありませんでした。

まず、大きく変わったことは、学校全体の雰囲気です。私が入学した29期は多くの女子が入学したとはいえ、圧倒的に男子校の雰囲気強い時代でした。「質実剛健」を地で行く荒々しさが学校全体を覆っていました。一方現在は、昔とは違った学校としての調和を感じます。ほとんどの生徒が品行方正であり、落ち着いて学業や部活動に取り組んでいます。

当時と変わらぬことは、個々の生徒の素朴さです。飾らぬ素朴な人柄の生徒が圧倒的多数を占めています。教員として多くの高等学校を見てきましたが、秦高生の素朴さと真面目さは群を抜いているといっても過言ではありません。

昔と比べ周りの環境は激変しております。国際的に活躍する卒業生も数多いと聞きます。秦野高校も新しい時代に向け、ICTの活用や国際交流に力を入れています。これまでの伝統に新たな特色が加わろうとしています。

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 湘南平塚病院

事務部長 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0036 神奈川県平塚市宮松町18番1号

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 湘南 苑

事務長 土屋 克巳 (高28回)

〒254-0046 神奈川県平塚市立野町37-1
電話(0463)31-0520(代) FAX(0463)31-3177

同期会だより

2年後の再会を約して

越水 清（高14回）

昭和37年卒業の私たち第14回生は、2年毎を原則として平成30年11月3日に秦野市内、一の家において44名の参加で6回目の同期会を開催いたしました。

昭和34年入学時は5クラス、250名の出会いから60年になります。把握しているところでは46名の方が故人となられ、会の始めに哀悼を込め黙祷を捧げました。

参加者の皆さんは懐かしい広畑が丘時代を語り、卒業後の暮らし方や今を語り合いながら和やかに旧交を温めることができました。

青春の日、同じ学舎で3年間過ごしたという事実を共有する同期生な



らではの楽しいひとときを過ごし、2年後の第7回での再会を約束し会を閉じました。

還暦を迎え 新たなステージへ

杵 成二（高29回）

昨年11月12日、平塚市内のホテルサンライフガーデンで29回生同窓会が行われました。当日は昼間に、希望者による学校見学会も行われ、懐かしい校舎で旧交を温め合いました。

17時30分から開催された同窓会に



は恩師の石原先生にもご出席いただき、総勢143名の方が集まりました。

卒業以来42年、皆それぞれの人生を歩んできたわけですが、再会すれば一気にタイムワープ、高校時代に戻ったようで、あちこちで話の花が咲いていました。最後に応援委員による振り付きで校歌とエールを全員で合唱し、お開きとなりました。次回からは5年後を予定していますので、一人でも多くの方のご参加をお願いします。

広畑が丘
空はれて

秦中・秦高 に想う

懐かしき思い出

石田隆祥 (高38回)

平成30年度から新たに伊勢原支部事務局長になり、同窓会本部の総会や役員会などに参加させていただいています。支部においても研修旅行など開催し活動させていただいた1年になりました。

このたび、在学中の思い出について寄稿依頼がありましたので、私の36年前を振り返ってみました。

何といっても独特の通学路が強烈な印象として残っています。伊勢原駅から小田急

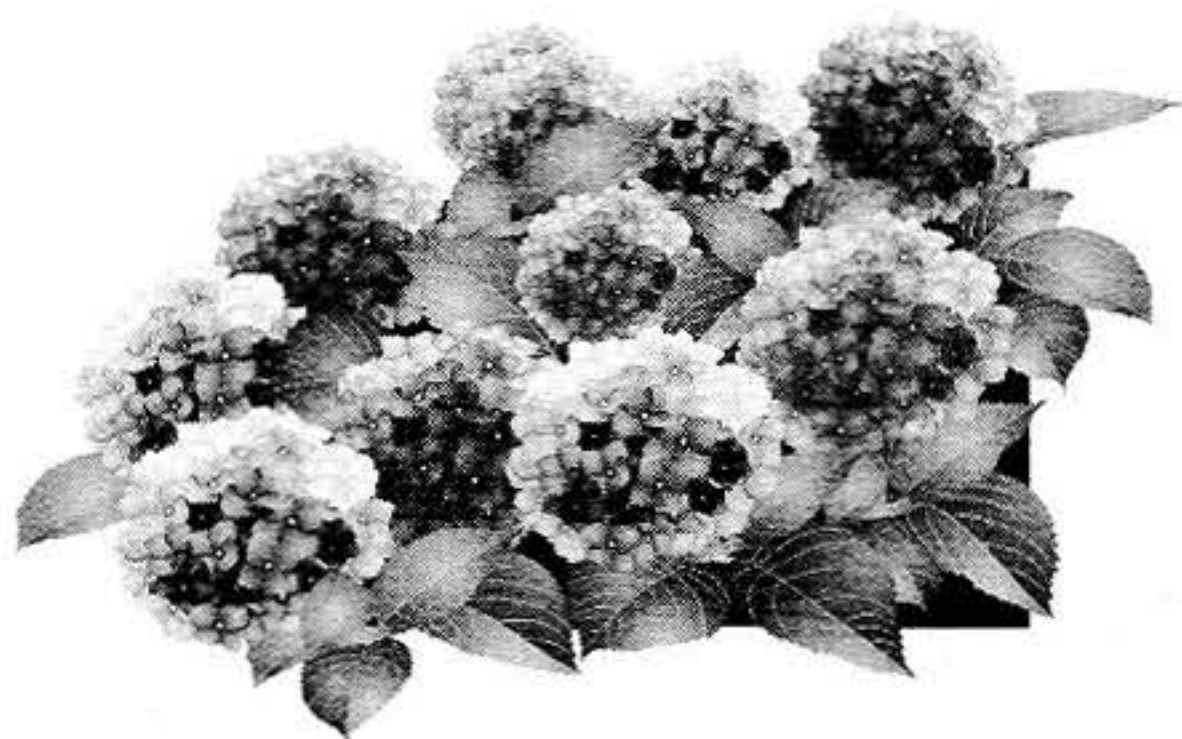
線に乗り2つ目の大根駅（現在の東海大学前駅）で降ります。改札口を右手に出て、踏切を渡らず線路沿いをしばらく歩くと住宅地に入り込みます。そこを抜けると次第に人気が無くなり、やがて見上げるような丘陵とともに上り坂が現れます。曲がりくねった小道を通り、息を切らして登り切った先に目指す秦野高校がありました。正門に足を踏み入れると、正面に校舎がそびえ、右手にはプールが、左手のプラタナスのグリーンベルトの先にグラウンドが広がります。校舎を抜けた奥には体育館がありました。

この学校に入学して卒業するまでの3年間、多くの仲間と共に学業やクラブ活動に励むことができました。体育祭や広陵祭、修学旅行やマラソン大会などの出来事がい出として今でも残っています。

昨年、同窓会役員になったことで、卒業して以来、久しぶりに母校を訪れることができました。当時と変わらない校舎やクラブ活動をする活発な生徒たちを見て、とても懐かしい思いがよみがえってきました。

青春かながわ校歌祭へも参加させていただき、多くの先輩方や現役の生徒・先生の皆様と交流し、応援歌並びに校歌を壇上で披露することができました。今後、創立百周年を迎える秦野高校に伝承される校歌の素晴らしさを改めて実感した次第です。

今年で平成の時代が幕を下ろし、5月1日からは新たな元号となります。私が青春を過ごした昭和の母校は、更に遠い思い出となりますが、伝統ある秦野高校の一層の振興に向け、微力ながら努めていきたいと思っています。



(医) 柏木 歯科 医院

理事長 博士 (歯学) 柏木 勝

診療所 小田原市本町 1-1-12

☎ 0120-24-2352

部活訪問

合唱部

美しいハーモニーを

奏するため努力しています

秦野市文化会館小ホールで3月30日、合唱部の第15回定期演奏会が開催された。会場には「NHK朝の連続テレビ小説」主題歌メドレー等、美しい歌声が流れていた。

現在部員は9名。顧問は藤田俊光教諭。

藤田さんは学生時代には混声合唱団で活躍していました。ボイストレーナーは母校の先輩の長澤智子さん、ピアノ伴奏は田中庸子さんです。練習はこのような恵まれた環境で、土曜日を含めて週4日間。

部長の水上雅琴さんは「部員の個々の個性を尊重しながら、より美しいハーモニーを奏でられるように気配りしている」とのこと。聴いた方から「ハーモニーがきれい」と言われ、それが励みになっています。楽しい雰囲気の中にも、更に高いレベルに向けての真剣な努力が続いています。毎年N



弦楽台奏部

初心者からでも 全国総文祭へ

創部は平成16年で比較的新しい部活動です。指導は4名の教諭の顧問と母校の卒業生でバイオリニストの新妻聖美さんです。

現在部員は27名ですが、半数ほどが中学校ではスポーツなど、音楽とは全く縁のない部活をしていました。入部してからしばらくは、楽器に慣れるまで苦労しますが、

HK全国学校音楽コンクールに参加。また学校近隣の公民館や小学校に行くなど、地域との繋がりが大切にしています。



慣れてくると演奏するのが楽しくなります。

部長の宮島愛佳さんは「部員全員が楽しく演奏できるようにしています」とアットホームな雰囲気作りにも気を配っています。練習の努力が実を結び、隔年開催される全国高等学校総合文化祭に神奈川県チームの一員として参加した部員も。また平成29年7月にはNHKの「新・BS日本の歌」に特別出演。レパートリーはポップスからクラシックと幅広く、老人ホーム、小学校、公民館、地域の文化祭などの出演の際は聴き手に応じた選曲が好評です。定期演奏会は毎年3月、7月に開催しています。



法政大学 湘南法友会

入会者募集中

前会長 梶山 春雄 (高7回)

税理士 社会保険労務士

〒259-1132伊勢原市桜台1-28-7

TEL.0463-95-2849 FAX.0463-96-1233

平成30年度 部活動の活動状況報告

部活動名	大会名	結 果	部活動名	大会名	結 果
陸上競技部	県高校総体	女子3000m 10位	ソフトテニス部	国民体育大会県予選	女子 ベスト32 他1ペア出場
	県選手権大会	男子少共110mJH 4位		学年別新人大会	男子 2年生の部 優勝・3位
		女子少B1500m 6位			女子 1年生の部 優勝
	北相地区高校陸上	女子200m 8位		北相地区学校対抗	2年生の部 優勝
		400m 3位			男子 準優勝 女子 準優勝
		800m・2位、 2位		県新人大会	男子 団体 ベスト8
		1500m 2位・4位			個人 ベスト32 1ペア
		3000m 1位・3位・4位			女子 団体 ベスト16
		400mH 6位			個人 ベスト8
		4×400mR 6位		他2ペア 県大会	
		学校対抗 5位		県選手権シングルの部	男子 1名県大会出場
		男子1500m 2位・8位			女子 ベスト32 1名
		5000m 3位・9位	他1名県大会出場		
	110mH 4位・5位	北相地区選手権大会	女子 優勝		
	3000mSC 7位・8位	テニス部	あじさいカップ	男子 個人シングルス本戦 準優勝	
	県高校新人陸上大会			女子 個人シングルス本戦 ベスト16	
			女子400m 6位	ベスト32 2名	
			1500m 11位	関東大会県予選	女子 団体 ベスト32
	3000m 8位・12位・19位		個人シングルス ベスト64		
	北相地区新人陸上大会		女子400m 1位・5位	北相地区夏季大会	男子 団体 準優勝
			1500m 2位・7位		個人シングルス 準優勝
			3000m 2位・4位		個人ダブルス ベスト8
			4×100mR 3位		女子 団体 ベスト8
	男子1500m 3位・4位		県新人大会	個人シングルス ベスト32	
5000m 1位・5位・6位	女子 団体 ベスト32				
県高校駅伝	男子 13位			個人ダブルス ベスト64	
	女子 5位	北相地区冬季大会		男子 個人ダブルス 準優勝	
東日本女子駅伝	神奈川県チーム代表3区 区間4位		女子 個人ダブルス ベスト16		
関東高校駅伝	女子 20位	水泳部	北相地区水泳競技大会 7月	男子 100m自由形 8位	
サッカー部	関東大会県予選			2次予選2回戦	400m自由形 6位
	高校総体県予選			2回戦敗退	200m平泳ぎ 4位
	高校選手権県予選			二次予選敗退・ベスト30以内	50m背泳ぎ 2位
	U18K3リーグ			7位 3部残留へ	100m背泳ぎ 3位・7位
	北相地区大会			3位	200m背泳ぎ 5位
野球部	春季県大会			出場	50mバタフライ 3位
	全国高校野球選手権大会県予選			初戦敗退	100mバタフライ 8位
	秋季大会			予選敗退	200mリレー 5位
ハンドボール部	関東大会県予選			男子 3回戦	200mメドレーリレー 8位
				女子 2回戦	男子総合 6位
	高校総体県予選			男子 3回戦	女子100m平泳ぎ 8位
		女子 3回戦	50mバタフライ 2位		
	北相地区夏季大会	男子 ベスト6	100mバタフライ 3位		
		女子 第4位	女子総合 8位		
ソフトテニス部	県新人大会	男子 3回戦	北相地区水泳選手権大会(新人戦) 9月	男子50m自由形 7位	
		女子 ベスト16		100m自由形 3位	
	県選手権大会	男子 2回戦		100m平泳ぎ 7位・8位	
		女子 2回戦		50m背泳ぎ 3位・4位	
ソフトテニス部	関東大会県予選	男子 個人 ベスト32		100m背泳ぎ 1位・4位・5位	
		3ペア 他1ペア県大会出場		50mバタフライ 2位・7位	
		団体 ベスト4		100mバタフライ 7位	
		女子 個人 ベスト32		200m個人メドレー 6位	
		2ペア 他1ペア県大会出場		200mリレー 2位	
		団体 ベスト4		200mメドレーリレー 3位	
	全国総体県予選	男子 個人 ベスト8		男子総合 1位	
		1ペア 全国大会出場		女子50m平泳ぎ 7位	
		他3ペア 県大会出場	100m平泳ぎ 6位		
		女子 個人 ベスト16	50mバタフライ 4位		
ソフトテニス部	全国総体	男子 個人2回戦	100mバタフライ 3位		
		男子 ベスト4 1ペア	200mリレー 7位		
	県選手権大会ダブルスの部	ベスト32 1ペア	200mメドレーリレー 8位		
		女子 ベスト16 2ペア	女子総合 8位		
国民体育大会県予選	男子 ベスト32 他2ペア出場				

部活動名	大会名	結 果	部活動名	大会名	結 果
バスケットボール部	関東大会県予選	男子 ベスト32	ストリートダンス部	ひろはたふれあいのつどい 11月	出演
		女子 ベスト32		大根ふれあい祭り 11月	出演
	高校総体県予選	男子 ベスト24		神奈川県ダンス新人大会7-8部門 1月	出演
		女子 ベスト24		神奈川県体育推進委員会大会 2月	出演
	新人大会西支部予選	男子 3位	かるた競技部	長から選手権大会兼全国大会予選第一次予選	団体戦 出場
		女子 優勝		小倉百人一首かるたルーキー大会	出場
	県新人大会	男子 1回戦		県秋季大会兼関東大会予選	個人戦 出場
		女子 ベスト16		県高総文祭高等学校かるた大会	団体戦 出場
バレーボール部	関東大会地区予選	男子 ベスト8	吹 奏 楽 部	秦野市民大会	個人戦 出場
		女子 ベスト14		西湘地区吹奏楽コンクール	高校B部門 金賞
	関東大会県予選	男子 1回戦		神奈川県吹奏楽コンクール	高校B部門 銅賞
		女子 1回戦		西湘地区アンサンブルコンサート	管楽打楽器八重奏 銀賞
	高校総体	男子 2回戦		定期演奏会 3月	秦野市文化会館)主催
		女子 1回戦	合 唱 部	秦野市バラ園コンサート	出演
	北相地区秋季大会	男子 ベスト16		青春かながわ校歌祭	参加
		女子 ベスト16		弘済学園「弘済ひなた祭り」	出演
	北相地区冬季大会	男子 リーグ戦 3位		広畑小学校クリスマスコンサート	参加
		女子 リーグ戦 2位		湘南合唱祭	参加
	県選手権大会	男子 1回戦		秦野市合唱祭	参加
		女子 ベスト32	弦 楽 合 奏 部	NHK全国学校音楽コンクール神奈川県コンクール	奨励賞
バドミントン部	新人大会地区予選	男子 2回戦		大根公民館まつり	参加
		女子 ベスト8		ひろはたふれあいのつどい	参加
	新人大会県大会	女子 1回戦		広畑小学校クリスマスコンサート	参加
		女子 ダブルス 出場		神奈川県高等学校合唱祭	合唱専門部会長賞
	新人大会県予選	女子 ダブルス ベスト16		鶴巻公民館まつり	参加
	新人大会県予選	学校対抗 出場		秦野総合高校合唱部定期演奏会	友情出演
卓 球 部	北相西地区冬季1年生初心者大会	男子 シングルス ブロック優勝2名	演 劇 部	第15回定期演奏会	主催 3月/秦野市文化会館
	北相西地区冬季大会	女子 ダブルス ブロック3位入賞		定期演奏会	開催(年2回・3月、7月)
	関東大会県予選	男子 シングルス 出場		神奈川県器楽・管弦楽演奏会	出場
	高校総体県予選	男子 シングルス 出場		秦野イオン地域の文化祭	参加
弓 道 部	県大会新人戦	男女 シングルス、ダブルス 出場	茶 道 部	はたるのうたげ	依頼演奏
	県大会新人戦	男女 シングルス、ダブルス 出場		秦野市文化会館避難訓練コンサート	依頼演奏
柔 道 部	関東大会県予選	個人戦 出場		秦野たばこ祭	参加
	全国大会県予選	個人戦 出場		大根公民館祭り	参加
	全国大会県予選	団体戦 合同チーム 出場		ひろはたふれあいのつどい	参加
	国体県予選	個人 中堅の部 出場		湘南老人ホーム みどりの風祭	参加
	新人大会	個人戦 出場	美 術 部	広畑小学校クリスマスコンサート	参加
	選手権大会	個人戦 出場		地域公開講座	参加
剣 道 部	関東大会県予選	女子 個人戦 ベスト16		中高演劇部交流会	ワークショップ開催 4月
		団体戦5回戦 ベスト16		サマーシアター	7月秦野文化会館)公演参加
		団体戦4回戦 ベスト16		第55回北相地区演劇連盟秋季大会	10月 優秀賞
	全国大会県予選	男・女 個人戦 ベスト16		ひろはた子ども園	出前演劇2月
		団体戦5回戦 ベスト16		北相地区演劇連盟春季大会	3月 参加
		団体戦4回戦 ベスト16		北中合同公演	3月 参加
	県新人戦	男子 個人戦 5回戦	サウ ン ド 研 究 部	高文連高校生茶会	参加
		女子 個人戦 ベスト16		勉強と親睦の茶会	参加
	全国選抜大会県予選	男子 団体戦5位 5位		大根ふれあい祭り	出展
		女子 団体戦4回戦 ベスト16		高校総合文化祭美術展	出展
チアリーディング部	北相地区大会	男子 個人戦 3位		秦野市事業	秦野市インターチェンジ内理行方 協力
	あすなろ大会	男子 個人戦 優勝		たばこミュージックフェスタ	参加
	USA Nationals 全国選手権大会 2019	高校編成Show Cheerleading-Novice部門 4位	英 語 部	秦野市立高校・小田原高校・伊豆高校合同ライブ	主催
	秦野丹沢まつり	出演		厚木東高校合同ライブ	参加
	秦野市民体育祭	出演		HIGH TEENS FES!	参加
	湘南ベルマーレフットサルハーフタイムショー	出演		スニーカーエイジ関東大会予選	参加
	ソフトボールリーグハーフタイムショー	出演	手 芸 調 理 部	神奈川県乳産委員会(牛乳製品利用推進コンクール)	出場
	秦野たばこ祭り	出演		食糧学院(東日本高校生レジコンテスト)	出場
	小田原地区マージング発表会 マージングフェスタ2018	出演			
	美・緑なかいフェスティバル	出演			
ストリートダンス部	秦野市市民の「オープニングセレモニー」	出演	漫 画 研 究 部		
	弘済学園「第8回弘済ひなた祭り」	出演			
	ダンス発表会 7月	秦野市文化会館・出演	写 真 部	[秦野観光写真コンクール]出展	[秦野観光写真コンクール]出展
	下大根団地納涼祭 8月	出演		秦野ガス「子ども体験教室」	講師
山 岳 部	厚木あゆまつり 8月	出演		地域公開講座	参加
				関東大会県予選	優秀校
				関東大会	出場

寸描

母校2018年度

—平成30年度の進路状況と
今後の取り組み—キャリア教育支援グループ
市川浩幸

2018年度入試の志願状況は、文理の比は5.5:4.5と例年とほとんど変化はなく、私立大学の入学定員超過抑制の進む中、早慶上理、GMARCH(注1)等の難関大学合格は厳しい状況でしたが、志願延べ数と合格数の割合が昨年度よりも高かったです。自分が本当に行きたい大学・学部、行ってもよいかなと思う大学・学部を探すと、いうメッセージを送り続け、進路指導を続

け、入学定員超過抑制という問題に対する関心の強い受験年度をどのように対策するかが課題でした。

このような入試環境の中、敢えて難関大学中心の受験ではなく幅広く受験する指導を奨励した結果、4年制大学292名(内国公立11名)、短期大学5名、専門学校12名、就職1名、進学準備44名でした。また、指定校推薦による進学者数は、93名(昨年66名)と増えました。参考ながら、GMARCHの合格者数は延べ90名でしたが、大学受験総志願数は239学部・学科(昨年度2937)、合格総数442学部・学科(昨年479)という結果で、昨年度よりも合格率が3%上昇しました。

2020年度入試で「大学入学センター試験」が最後となり、大学入学者選抜改革により2021年度入試からは「大学入学共通テスト」が始まり、特徴として「記述式問題(国語、数学)」や「英語資格・検定試験(英語4技能)」の活用が導入され、「思考力」「判断力」「表現力」を一層重視した作問になります。本校ではICT(注2)

の指定校として継続3年の指定を受け、さらに充実した研究を進めることになり、「課題発見・解決」や「グループ学習」の効果

を最大限に活かし、新入試に向けた学力の向上を目指します。生徒個々にあつては、目標を高く設定し、「まじぐらに(校歌抜粋)」進んで欲しいと考えます。

2018年度(平成30年度)卒業生の進路状況

	合格者	入学者	入学者内訳			
			一般入試	指定校入試	公募制入試	AO自己推薦
国公立大学	12	11	8	1	1	1
私立大学	440	276	153	93	12	18
短期大学	6	5	4	1	0	0
専門学校	12	12	2	0	10	—
就職	1	1	—	—	—	—

(注1) GMARCHとは、学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政の略
(注2) ICTとは、
Information and Communication
Technology
(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略



喜び、満足、感動の花をお届けします
花生活応援 はなさよ

花小代

<http://hanasayo.com> phone.0463-96-1187

神奈川県伊勢原市桜台 1-23-38

2018年度 主な大学・短大合格者延べ数

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
国公立大学			北里大学	4	3	東京理科大学	7	1
電気通信大学	1		慶應義塾大学	1	2	東邦大学		3
東京海洋大学	1		工学院大学	14	6	東洋大学	11	2
東京学芸大学	1		國學院大学	6	2	日本女子大学	6	
横浜国立大学	1		国際医療福祉大学	10		日本体育大学	2	
横浜国立大学	1		国士舘大学	13	1	日本大学	51	9
茨城大学		1	駒澤大学	18	6	フェリス学院大学	1	
金沢大学	1		相模女子大学	9		法政大学	27	9
富山大学	2		芝浦工業大学	3	1	武蔵大学		1
静岡岡島大学	2	1	上智大学	3		明治学院大学	23	1
徳島大学		1	昭和女子大学	4		明治大学	11	5
金沢美術工芸大学	1		昭和薬科大学	6		横浜薬科大学	4	2
静岡県立大学	1		成蹊大学	7	3	立教大学	4	2
名古屋市立大学		1	成城大学	14	3	早稲田大学	1	3
私立大学			専修大学	35	4	立命館大学	4	1
青山学院大学	24	4	玉川大学	12	1	私立短大		
麻布大学	4		中央大学	20	13	鎌倉女子短大部	1	
桜美林大学	15		帝京大学	13	1	湘北短大	1	
学習院大学	4	1	帝京平成大学	8	1	帝京短大	1	
神奈川工科大学	29		東海大学	57	12	東海大学医療技術短大	1	
神奈川大学	36	2	東京家政大学	2		東京家政短大部	1	
鎌倉女子大学	2		東京電機大学	3	3	日本大学短大部	1	
関東学院大学	26		東京薬科大学	3				
			東京都市大学	25	6			
			東京農業大学	16				
			東京工業大学	15				

お知らせ

▼会報について

現在、会員の皆様に届けられている「広陵」はホームページで閲覧することができま

す。
会報送付は必要ないという方もおられると思いますので、左記へ連絡下されば、次号より送付しません。

▼転勤や結婚など

今までの住所から新たに転居された方はご連絡ください。また、会員、旧職員でなくなりになった場合は、ご家族様もしくはご親族様が連絡をお願いします。

▼連絡先

〒257-0004 秦野市下大槻113
秦野高校内同窓会あて(郵送)
ホームページ
<http://www.koryokainfo/>

会計報告

平成30年度全国大会支援金収支決算報告

収入（繰越金）	1,755,361円
支出（派遣費、手数料）	165,114円
残金（繰越金）	1,590,247円

今後ともよろしく御支援のほど、お願い申し上げます。なお、本年度も派遣援助金振込用紙を同封させていただきます。

同期会への祝金

同期会を開催する場合、同期会から祝金1万円を贈呈します。

手続きは次の役員に実施計画書・報告書（A4判1枚）を請求し提出してください。

平成30年度全国大会 支援金振込者

秦野 高橋昇三（支部長） 秦野市下大槻799-7 0463-77-0694	伊勢原 吉野富夫（支部長） 伊勢原市小稲葉1055 0463-93-2128	平塚 小川喜久雄（支部長） 平塚市岡崎2702 0463-58-2329	湯川 瑛士（伊志田） 安居院 健太（鎌倉） 宮崎 濯（平塚商業定） 清水 玲子（藤沢西） 磯崎 恵子（山北）
【転任】 込山 宣子（足柄） 桶土井 恵美（上溝） 小野 宏文（田奈） 石井 清志（厚木東） 小西 徳和（小田原） 柳川 幸彦（城北工業）	【退職】 河野 治行 今井 公彦 千村 裕男 山本 茂 高橋 義律 田中 博子	次の先生方が転退職されました。長い間、ありがとうございました。（敬称略）	
【旧職員】（敬称略） 東島 光明（昭35-36）体育 鈴木 公明（昭28-42）数学	【会員】（敬称略） 中5戸倉豊三 高5普川 清 中9相原豊久 高7田中 務 中12杉山 淑 高7松本信子 中12武田 孝 高7尾上喜代司 中13真壁松雄 高9曾我一明 中15山口武治 高12宮本敏明	慎んでお悔やみ申し上げます。	

春の異動



物故者

編集後記

今回の号から文字を少し大きめにしてみました。いかがでしょうか。

秦高生の現在を、部活動を通して、かい間みることで、きょうな記事を取り上げました。いろいろご意見をお寄せください。

なお、フレッシュな編集委員が加わり、内容も若い会員が興味をもってもらえるような記事をめざします。

秦野高等学校同窓会 報委員会

発行責任者

桐山昌幸（高15）	小泉広澄（高17）
北村 卓（高20）	小林 充（高5）
山口雅弘（高14）	成田勝也（高37）
小椋義一（高19）	原 秀彰（高70）

ホームページアドレス <http://www.koryokai.info/> 振替口座 00120-8-22689

〒257-0004 秦野市下大槻1-13番地 県立秦野高等学校内